

「自然を描く一書の美しさを求めて」

# 第3回 書道

# パフォーマンス

伝統文化としての書の本質を磨きながら  
新しい書の魅力を探求し、新たな文化を創造する  
書家や高校生による書道パフォーマンスを実施します。

日時 平成27年10月11日(日)

◎14:00~15:30

場所 富山県教育文化会館  
ホール

席上揮毫 金澤 翔子

テーマ  
「月」

書家。1985年、東京生まれ。

5歳のときより母・泰子に師事し、書道を始める。20歳で銀座書廊に於いて初の個展を開催。その後、建長寺、建仁寺、東大寺、中尊寺などで個展を開催。厳島神社などで奉納揮毫。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫。2013年に国体開会式に於いて巨大文字を揮毫。紺綬褒章受章。天皇御製を謹書。2015年3月NY国連本部にて開催の「世界ダウン症の日記念会議」でスピーチ。The Nippon Gallery at THE NIPPON CLUBにて初のニューヨーク個展を開催。著書に「小さき花」小学館、「希望の筆」佼成出版、「翔子」角川マガジズ、「お母様大好き」いきいき株式会社、「ひたすらに書きます」芸術生活社、別冊・太陽「金澤翔子の世界」平凡社がある。

【作品展示期間】平成27年10月16日(金)まで (入場無料)

【場所】高志の国文学館 エントランスロビー



講演 金澤 泰子 演題:「翔子、その書との出会い」

金澤翔子の母。1943年生まれ、明治大学卒業。

書家の柳田泰雲・泰山に師事。1990年、東京・大田区に「久が原書道教室」を開設。著書に「愛にはじまる」ビジネス社、「天使の正体」「天使がこの世に降り立てば」かまくら春秋社、「翔子の書」大和書房、「涙の般若心経」世界文化社、その他多数。久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。



- 今後の予定 - 来年1月 テーマ「雪」 3月 テーマ「花」

## 申込み方法

下記①②いずれかの方法でお申込みください。

①直接、高志の国文学館までお越しください。

入場整理券をお渡します。(お一人4枚まで)

②往復ハガキに(1)氏名(4名まで)、(2)住所、(3)電話番号を記入のうえ、ご郵送ください。 ※9月28日(月)必着

入場整理券の発行は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※高志の国文学館友の会会員については、事務局から整理券を送付しますので、ご希望の方は9月28日(月)までに電話またはFAXで必要枚数(4枚まで)をお知らせください。

入場  
無料  
(定員)  
600名

住信

930-0095  
富山市舟橋南町2-22  
高志の国文学館 宛

この面には何も記入  
しないでください。

返信

ご住所  
ご氏名

参加を希望する方の  
(1)氏名(4名まで)  
(2)住所  
(3)電話番号

企画協力:香希画廊

お問い合わせ先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町2-22  
TEL:076-431-5492 FAX:076-431-5490